

# MUTOH



証券コード 7999

## 第70期 中間(第2四半期)報告書

平成30年4月1日から平成30年9月30日まで



MUTOHホールディングス株式会社

## ■株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
ここに、第70期中間（第2四半期）報告書をお届けし、当期の業績および当社グループにおける取り組みにつきまして、ご報告申し上げます。

## ■事業の経過および成果のご説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済環境は、米国は雇用・所得環境の改善傾向の持続により堅調に推移しているものの、米中貿易摩擦の影響により輸出が減少し、中国においても景気に影響をあたえており、欧州においてはイタリアの財政問題や難航している英国のEU離脱交渉など、不安定な状態が拡大しております。国内経済においては、為替相場は総じて安定した円安傾向が継続し、企業収益は堅調に推移しているものの、自然災害の影響等から一時的に景気回復に足踏み感が見られました。

このような状況のなか、当社グループは、経営体質を抜本的に強化するため、開発・生産・販売にわたる業務プロセス改革、仕組み改革を実施し、将来にわたる収益力向上に取り組んでおり、その効果が表れはじめております。

大判インクジェットプリンタ事業においては、汎欧マーケティング施策の一元化、物流改革などを推進すると同時に、成長分野と位置付けるテキスタイル・インダストリアル市場を対象とした新製品開発を推進しております。

様々なメディアへの対応力に定評のある当社独自のマルチパーパスインクを『MP31インク』としてバージョンアップ。UVインクに比べ、凹凸が少なく滑らかで素材の風合いを生かした自然な仕上がりで、熱や伸びにも強くお客様の多様なニーズに応えます。8月には同インク搭載のハイブリッドインクジェットプリンタ『VJ-1627MH』を新発売。また、7月には超高速モードを搭載し経済性・生産性を高めた高速・高品質なアパレル専用インクジェットマーキングプロッタ『AR-9100』を新発売。

3Dプリンタ事業においては、当社製品『Value 3D Resinoid MR-5000』で実現した独自の材料複合技術「Bi-Matrix」が複数の学会論文に使われ、その応用範囲が広がっております。さらに、3Dプリンタの新しいデータフォーマット「FAV」のJIS原案委員として、当社は業界の牽引役を担っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は95億61百万円（前年同期比3.7%減）となり、営業利益1億1百万円（前年同期は46百万円の損失）、経常利益1億49百万円（前年同期比118.8%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は2億5百万円（前年同期は17百万円の利益）となりました。

当社グループは、収益力向上を目指して積極的な経営戦略を展開してまいります。  
皆様には、今後とも引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 基本方針

常に革新し  
挑戦を続け  
社会に貢献する

# 連結決算ハイライト

○売上高	第70期第2四半期 <b>9,561</b> 百万円		
	第67期	第68期	第69期
	23,449 百万円	20,493 百万円	20,048 百万円
第2四半期	11,375 百万円	9,870 百万円	9,923 百万円

○営業損益	第70期第2四半期 <b>101</b> 百万円		
	第67期	第68期	第69期
	689 百万円	183 百万円	160 百万円
第2四半期	264 百万円	16 百万円	△46 百万円

○経常損益	第70期第2四半期 <b>149</b> 百万円		
	第67期	第68期	第69期
	622 百万円	199 百万円	341 百万円
第2四半期	237 百万円	△98 百万円	68 百万円

○親会社株主に帰属する四半期(当期)純損益	第70期第2四半期 <b>205</b> 百万円		
	第67期	第68期	第69期
	148 百万円	△113 百万円	△337 百万円
第2四半期	0 百万円	△194 百万円	17 百万円

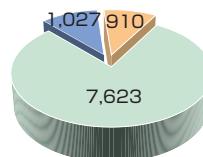
○総資産額	第70期第2四半期 <b>29,678</b> 百万円		
	第67期	第68期	第69期
	31,701 百万円	30,514 百万円	29,898 百万円

○純資産額	第70期第2四半期 <b>23,094</b> 百万円		
	第67期	第68期	第69期
	23,917 百万円	23,484 百万円	23,019 百万円

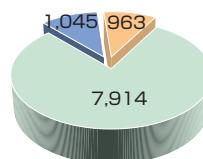
## 第2四半期事業セグメント 売上高 (百万円)

■ 情報画像関連機器事業
 ■ 情報サービス事業  
■ 設計計測機器事業・不動産賃貸事業  
 ならびにその他の事業

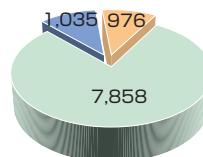
・第70期 **9,561** 百万円



・第69期 **9,923** 百万円



・第68期 **9,870** 百万円



### 通期の 業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
連結業績予想	20,500	240	260	20

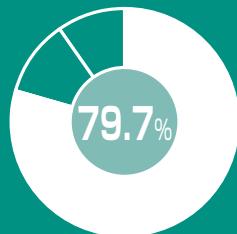
(平成30年5月15日公表値)

第3四半期以降は、米中貿易摩擦やイラン制裁による世界経済への影響、難航している英国のEU離脱交渉の行方など不安定要素が多く、業績予想を合理的に見直すことが難しくなってきました。

このため、現時点においては平成30年5月15日に公表いたしました通期の業績予想値を据え置いておりますが、今後業績への各種影響が明確になり、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

## 事業セグメントの概況

### 情報画像関連 機器事業



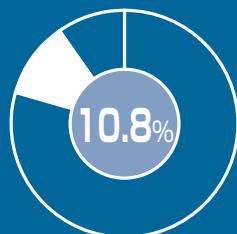
売上高  
7,623百万円

アジア地域においては、売価売価是正政策を実施するも、3Dプリンタ市場の一服感による影響から、売上高31億13百万円（前年同期比1.8%減）となりましたが、収益力向上に向けた取り組み効果によりセグメント利益80百万円（前年同期は2億71百万円の損失）となりました。

北アメリカ地域においては、市場競争が厳しさを増し販売価格の下落から、売上高17億9百万円（前年同期比2.0%減）、セグメント利益41百万円（前年同期比27.3%減）となりました。

ヨーロッパ地域においては、販売価格の下落の影響などにより、売上高28億円（前年同期比6.7%減）、セグメント利益56百万円（前年同期比58.5%減）となりました。

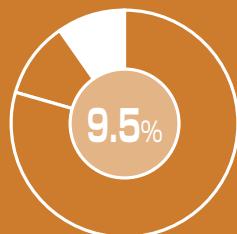
### 情報サービス 事業



売上高  
1,027百万円

情報サービス事業においては、主に既存事業（CAD事業・システムソリューションサービス事業）では販売がほぼ前年並みに推移したものの原価率の上昇により減益となり、売上高10億27百万円（前年同期比1.7%減）、セグメント利益44百万円（前年同期比34.2%減）となりました。

### 設計計測機器事業 不動産賃貸事業 ならびに その他の事業



売上高  
910百万円

設計計測機器事業においては、販売が若干減少したものの販売費の削減等により、売上高5億49百万円（前年同期比4.6%減）、セグメント利益86百万円（前年同期は4百万円の利益）となりました。

不動産賃貸事業においては、一部物件の売却により、売上高1億55百万円（前年同期比5.4%減）、セグメント利益1億3百万円（前年同期比15.1%減）となりました。

その他の事業においては、販売減と為替の円安傾向による仕入原価の上昇により、売上高2億4百万円（前年同期比7.9%減）、セグメント損失23百万円（前年同期は7百万円の損失）となりました。

## 2018 SGIA Expo “プロダクト・オブ・ザ・イヤー” 『ValueJet』シリーズが7年連続受賞！

10月18～20日にアメリカ ラスベガスで開催された「2018 SGIA Expo」において、MUTOH 『ValueJet』 プリンタシリーズの『VJ-2638X』『VJ-1624X』『VJ-1638UH』『VJ-626UF』の4機種が、4部門で“プロダクト・オブ・ザ・イヤー”を受賞しました。

### 2018 SGIA Product of the Year Winners



「SGIA Expo」は、アメリカ最大級の広告・印刷産業の展示会です。そこでの選考方法は、各社が提出した印刷成果物を、審査委員がどのメーカーかわからない状態で審査するものです。

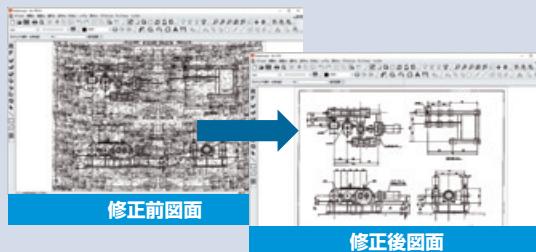
カテゴリーが19種類追加され、今まで以上に激しい競争の中で7年連続受賞を達成し、4部門での受賞となったことは、MUTOH 『ValueJet』 プリンタの製品技術への取り組みが評価された証しであります。

## 紙図面をスキャンし、ラスタのまま編集 『EDGESWEEPER Ver.5』 Windows10対応版

Multi-purposes Raster Drawing Application  
**EDGESWEEPER** Ver. 5  
多目的ラスタ図面編集アプリケーション エッジ・スイーパー

『エッジ・スイーパー』は、スキャンした紙図面をまるでCADのように、自在に編集することができるプロフェッショナルツールです。

3DCADの普及率が高まる一方、設計者を悩ませる問題は紙図面。紙図面はスキャナーで入力し電子化することは可能ですが、編集に手間が掛かり加工には適しません。そのため、スキャナーのデータは使用せず修正液を使い紙図面のまま修正する、またはCADで一から再入力するのが一般的です。このような紙図面の問題を解決するのがラスタCAD『エッジ・スイーパー』。重なり合った図形の中から、「線」や「円」など目的の形状だけを選択する機能。一時的にベクタデータ（CADデータ）に変換し、座標や距離を修正できる機能。これらの機能を活用することで、スキャナデータを直接編集し短時間で図面改訂を可能とします。



### アイシング用ローラー

#### 『ナイスアイス (NICE ICE)』 ラージ／スモール

『ナイスアイス』は、アイシング／マッサージ／圧迫が同時にできるアイシング用ローラーで、スポーツなどでストレスのかかった部位を正常な状態に戻すために効果を発揮します。ラージとスモールの2サイズがあり、使用部位に応じて使い分けていただけます。

- ◆ 1つで「アイシング／マッサージ／圧迫」が同時にできる！
- ◆ ローラーはステンレススチール製でお手入れも簡単！  
…バクテリアやウィルスの増殖を防ぎます。
- ◆ 冷凍庫に入れるだけ！…準備いらずでサッとご使用いただけます。
- ◆ 冷凍庫で1時間の冷却で、最大60分のアイシング使用が可能！（ラージサイズ）

#### 『ナイスアイス』 ラージサイズ

縦 18cm  
横(最長部) 9.5cm  
厚み(ローラー部) 5cm



#### 『ナイスアイス』 スモールサイズ

縦 17cm  
横(最長部) 6.5cm  
厚み(ローラー部) 2.5cm

## マルチパーパスインク『MP31インク』搭載 1,625mm幅対応 ハイブリッドインクジェットプリンタ『VJ-1627MH』を新発売

『VJ-1627MH』は、商業印刷、工業用印刷、サイン&ディスプレイ市場向けに開発された1,625mm幅リジッドメディア&ロールメディア対応のハイブリッドインクジェットプリンタです。

従来モデル『VJ-1617H』に比べて性能・生産性が向上、また、操作やメンテナンスも容易になりました。様々なメディアへの作画を可能にするマルチパーパスインク『MP31インク』を搭載して、多様な市場における多品種アプリケーション制作のニーズに応えます。



**ValueJet 1627MH**  
multi purpose  
**mp31**  
31



マルチパーパスインク『MP31インク』による  
プリントサンプル

## アパレル専用インクジェットマーキングプロッタ 『AR-9100』を新発売

**MARKING JET**  
INKJET MARKING PLOTTER FOR APPAREL  
AR-9100

『AR-9100』は、従来モデル『AR-9000』の高い効率性はそのままに、より高速・高品質を実現したアパレル専用インクジェットマーキングプロッタです。



- ◆ 最大1,615mmまでワイドな作図が実行可能
- ◆ 多点固定式の加圧ローラの採用により、用紙中央部分の浮きを抑えながら、薄手で幅広い用紙も確実にホールドして搬送
- ◆ マーキングの設定を切り替えることで、用紙の厚みに応じた巻き取り機能のON/OFFを選択・実行
- ◆ 横切りカットも可能で、条件に合わせて最適な出力方式に対応
- ◆ 超高速モードでは、インク吐出量を抑えた印字で経済性を高め、生産性も向上
- ◆ サブタンクシステムの採用により、作業を中断せずにインクカートリッジが交換可能

## エンジニアリングプラスチック対応 大型樹脂溶解積層式3Dプリンタ

### 『Value 3D Resinoid MR-5000』と『Bi-Matrix』複合化

『Value 3D Resinoid MR-5000』は、スーパーエンブラを400℃で造形可能にした熱溶解積層式3Dプリンタです。また『Bi-Matrix』という新しい材料複合技術（特許権利化済み）を実現し、複数の学会論文にも使われています。さらに、3Dプリンタの新しいデータフォーマット『FAV』のJIS原案委員として、業界の牽引役を担っております。

#### ◎『MR-5000』で新しい素材を実現しています。

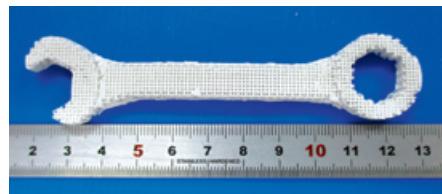


**Value 3D Resinoid**  
**MR-5000**

- ◆ 鋼鉄並みの硬さを1/2.5の重量で実現したセラミック+アルミ複合体  
(産総研、アルミメーカー、自動車メーカーで検討中)



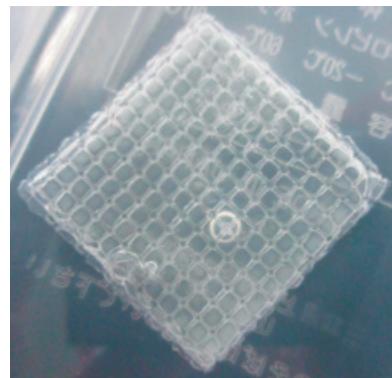
鋼鉄並みの硬さのセラミック+アルミ複合体



セラミック井桁体 (Bi-Matrix複合)

- ◆ 3次元細胞培養の足場材（たんぱく質、多糖類の井桁構造体）  
(国立大学、国立研究機関との研究で再生医療学会にて発表予定)

『MR-5000』でスチレンとゼラチンの『Bi-Matrix』複合体を作り、スチレンを除去し、ゼラチンの井桁構造体を作成。線に見える隙間に細胞を入れると増殖することが確認でき、学会発表の予定です。



#### ◎『Bi-Matrix』複合化を使った学会発表で応用範囲が広がっています。

- ◆ 2016年 casting学会（セラミック+アルミ複合体）産総研、武藤工業連名
- ◆ 2018年機械学会（ポリウレタンの造形品質）スポーツ関連メーカー
- ◆ 2019年再生医療学会（井桁構造の細胞培養）国立大学、武藤工業連名

# 連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期末	前第2四半期末	前期末	科目	期別	当第2四半期末	前第2四半期末	前期末
		平成30年9月30日現在	平成29年9月30日現在	平成30年3月31日現在			平成30年9月30日現在	平成29年9月30日現在	平成30年3月31日現在
<b>資産の部</b>					<b>負債の部</b>				
流動資産		16,717	18,490	17,978	流動負債		4,629	4,834	4,910
現金及び預金		8,758	9,492	9,441	支払手形及び買掛金		2,482	2,342	2,843
受取手形及び売掛金		3,449	3,752	3,857	その他		2,147	2,491	2,067
たな卸資産		3,913	4,110	3,810	固定負債		1,953	2,178	1,968
その他		595	1,134	868	退職給付に係る負債		1,546	1,740	1,566
固定資産		12,961	12,239	11,919	その他		407	438	401
有形固定資産		8,208	8,684	8,436	<b>負債合計</b>		<b>6,583</b>	<b>7,013</b>	<b>6,878</b>
無形固定資産		385	277	298	<b>純資産の部</b>				
投資その他の資産		4,367	3,278	3,184	株主資本		24,049	24,448	24,004
投資有価証券		3,845	2,276	2,697	資本金		10,199	10,199	10,199
その他		521	1,001	487	資本剰余金		4,182	4,182	4,182
資産合計		29,678	30,730	29,898	利益剰余金		12,107	12,415	12,062
					自己株式		△ 2,439	△ 2,349	△ 2,439
					その他の包括利益累計額		△ 1,753	△ 1,548	△ 1,815
					非支配株主持分		798	817	830
					<b>純資産合計</b>		<b>23,094</b>	<b>23,716</b>	<b>23,019</b>
					<b>負債・純資産合計</b>		<b>29,678</b>	<b>30,730</b>	<b>29,898</b>

## ■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期	前 期
		自平成30年4月1日 至平成30年9月30日	自平成29年4月1日 至平成29年9月30日	自平成29年4月1日 至平成30年3月31日
売上高		9,561	9,923	20,048
営業損益		101	△ 46	160
経常利益		149	68	341
税金等調整前四半期(当期)純利益		264	169	437
親会社株主に帰属する四半期(当期)純損益		205	17	△ 337

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

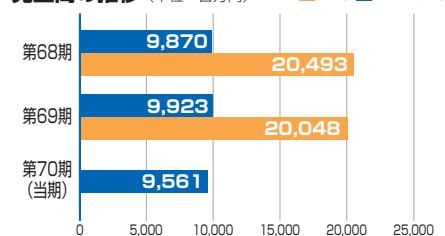
(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期	前 期
		自平成30年4月1日 至平成30年9月30日	自平成29年4月1日 至平成29年9月30日	自平成29年4月1日 至平成30年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		609	672	1,672
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,162	313	△ 529
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 213	△ 215	△ 309
現金及び現金同等物の増減額		△ 683	936	891
現金及び現金同等物の期首残高		9,441	8,556	8,556
連結の範囲の変更に伴う増減額		—	—	△ 6
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		8,758	9,492	9,441

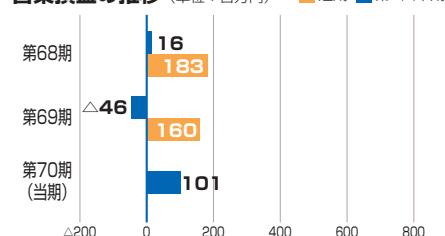
## ■ 事業セグメントにおける連結会社

事業区分	会社名
情報画像関連機器事業	武藤工業(株)・ムトーアメリカ社・ムトーヨーロッパ社・ムトーンズヨーロッパ社・ムトードイツ社・ムトーオーストラリア社
情報サービス事業	ムトーアイテックス(株)・武藤工業(株)・(株)ムトーフイギュアワールド
設計計測機器事業	武藤工業(株)
不動産賃貸事業	MUTOHホールディングス(株)・(株)ムトーエンタープライズ
その他の事業	(株)ムトーエンタープライズ

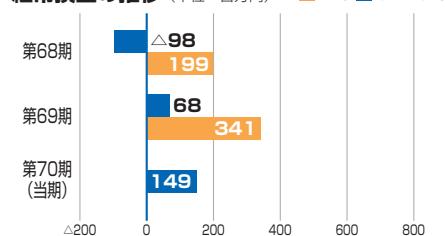
## 売上高の推移 (単位：百万円)



## 営業損益の推移 (単位：百万円)

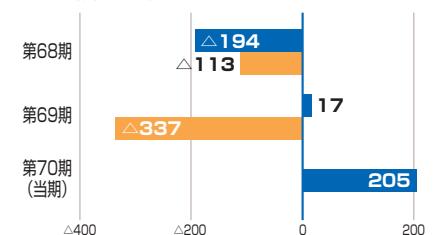


## 経常損益の推移 (単位：百万円)



## 親会社株主に帰属する

## 当期純損益の推移 (単位：百万円)



# 会社の概要 (平成30年9月30日現在)

商号 MUTOHホールディングス株式会社  
(英文社名 MUTOH HOLDINGS CO., LTD.)  
設立 1952年(昭和27年)3月5日  
(創業:1942年(昭和17年)12月)  
資本金 101億99百万円

本社事務所 東京都世田谷区池尻三丁目1番3号  
TEL:03-6758-7100(代)  
主な事業内容 グループ会社の経営管理および資産管理  
ホームページ <https://www.mutoh-hd.co.jp>

## MUTOHグループ会社



## 役員 (平成30年9月30日現在)

取締役会長	坂本俊弘	取締役	加藤晃章	取締役監査等委員	立沢肇
代表取締役社長	早川信正	取締役	高山芳之	取締役監査等委員	山田一寛
取締役	嶋居和之	取締役	小林裕輔	取締役監査等委員	飛田博
取締役	磯邊泰彦				

# 株式の状況 (平成30年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数	17,000,000株
■ 発行済株式総数	5,481,818株
■ 1単元の株式数	100株
■ 株主数	5,888名

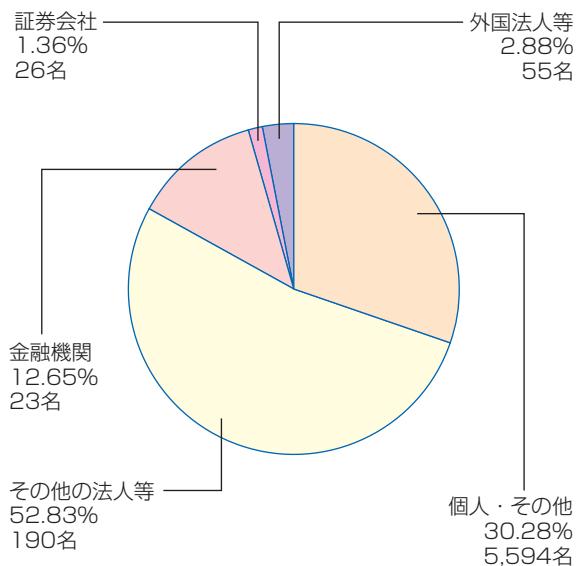
## ■ 大株主の状況

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
TCSホールディングス株式会社	1,322,000	29.05
三井住友信託銀行株式会社	210,700	4.63
株式会社みずほ銀行	107,139	2.35
ユニシステム株式会社	92,300	2.03
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	86,000	1.89
エヌ・ティ・ティ・システム開発株式会社	71,900	1.58
公益社団法人日本設計工学会	68,058	1.50
堀 啓	59,100	1.30
ハイテクシステム株式会社	56,100	1.23
戸田 智之	55,000	1.21

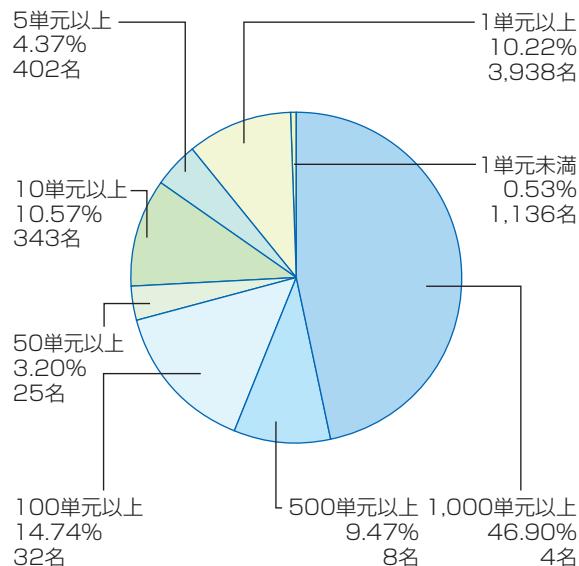
(注) 1. 当社は自己株式931,228株を保有しておりますが、上記「大株主」からは除いております。

2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## ◆所有者別分布状況



## ◆所有株式数別分布状況



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当金  
受領株主確定日 毎年3月31日

中間配当金  
受領株主確定日 毎年9月30日

公告方法 電子公告により当社ホームページに掲載  
<https://www.mutoh-hd.co.jp>

※やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合には、「日本経済新聞」に公告いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。

## ご注意

### 1. 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 2. 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

この冊子は、環境にやさしい「FSC認証紙」「植物油インキ」を使用し、印刷工程で有機溶剤等を使わない「水なし印刷」を採用して印刷し、針金を使わずに製本しています。

